

「第10回 Jichi Joy Café」開催結果報告

2019年度テーマ「多様なキャリアを理解し合う In The Jichi」

2019年7月12日に第10回 Jichi Joy Caféを開催いたしました。今回は初めての試みとして、講演は行わずにディスカッションを中心にさせて頂きました。開催前の事前アンケートに基づき、当センターのアドバイザーがファシリテーターとなって参加者の皆様と意見交換を行いました。Jichi Joy Caféの特徴でもある、“暖かな雰囲気のもと 職種や立場を超えて話し合い お互いの理解を深める”ということのできた会だったと思います。

職場で「お互いを理解しあう」には何が大切かというテーマでは、コミュニケーション、環境・体制作りなどの意見が出ました。上司から部下に声をかけてくれると話しやすい、上司と定期的な面談を行う仕組みがあると良いなどの意見もあり、医局など部署ごとに取り組みの差があることも分かりました。

今後も多くの方に Jichi Joy Caféに参加いただけるように、実施時間や内容を工夫していきたいと思っています。都合がございましたら参加して、自由に暖かな雰囲気を感じて頂ければと思います。

また、医師・研究者キャリア支援センターでは皆様とともに「お互いを理解し合う」にはどうしたらよいのか考えていきたいと思っています。ご意見等がありましたら気軽にお寄せ下さい。



記

【開催内容】

◆当日タイムスケジュール

- ① あいさつ センター長 小宮根 真弓
- ② 自己紹介
- ③ 事前アンケートによるフリーディスカッション
ファシリテーター 循環器内科学 講師 小形幸代 先生
精神医学 助教 加藤梨佳 先生



《事前アンケート結果》

第10回 Jichi Joy café 事前アンケート結果

2019年度テーマ

「多様なキャリアを理解し合う In The Jichi」

普段ゆっくり話せない事を、
この機会にみんなで話してみませんか？

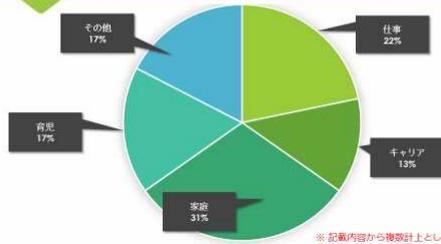
事前アンケートへのご協力 ありがとうございます

本日は、第10回「Jichi Joy café」へご参加いただきまして、誠に有難うございます。

本日の参加者 教授1、講師2、助教2、病院助教3、臨床助教2
非常勤医員1、リサーチレジデント1、ラボランチン3
大学院生1、医学部生2
イロイロな職種の皆様にご参加いただいております。

日頃の悩みや不満（区別別）

n=13/18（アンケート回収率72.2%）



※記載内容から推察計上しているものもあります。

Q1. 日頃のお悩みや不満に思っていること？

（仕事、家庭、育児 e t c）

時間・・・

- ＊ 時間がなく仕事と家事、育児をうまく回せない。
- ＊ 実家も遠いため、週末などに自分の時間をつくるのが難しい。
- ＊ 勤務時間はほぼ診療で終わる。時間外に研究を行わなければならないが、子育てと家庭のごことで時間をつくるのが大変。睡眠時間を削ると体調を崩しがちになる。
- ＊ 私も時短勤務で仕事をしているのに、育児、家事のほとんどを私が担当してやらなくてはならないのがやや不満・・・
- ＊ 平日は時短勤務、週末は子供達の事で、時間外の医局の仕事をしていくと申し訳ない。（学会発表、研修会、勉強会など）
- ＊ 今日はもうちょっと残業したいのだけど・・・という時の融通が効かない。
- ＊ 委員会出席、医局連絡、スタッフの勤務時間調整などのマネジメントにける時間多い。

Q1. 日頃のお悩みや不満に思っていること？

（仕事、家庭、育児 e t c）

育児・・・

- ＊ 夫は、次男（2才）の面倒見るのは大変なようで面倒見てくれない。夫の仕事疲れを考えると子供の世話を頼みづらい。
- ＊ こどもの「自分でやる」という自立心を、時間に余裕が無く待たせられない・・・ついつい「早くして」と言ってしまふ。
- ＊ 週末に子供の習い事が集中するので、疲れが取れない。
- ＊ 短時間労働者にとっては、こどもの夏休み中は託児で赤字の危機！



Q1. 日頃のお悩みや不満に思っていること？

（仕事、家庭、育児 e t c）

その他・・・

- ＊ 職場から駐車場までの距離が遠い・・・
- ＊ 卒後のイメージが湧かない。
- ＊ 職場の人間関係について・・・
職種が違うと関係性に隔りがあり仕事がつづらぬ。
- ＊ 講習会のチューターなどの休日出勤が報酬、業績として残らない。
- ＊ 休日出勤中のヘルパー利用の経済負担、ある程度の補助が貰えると良い。
- ＊ 夫との家事育児に対する考え方の違いを修正できない。



Q2. 直接は言いづらい・・・医局、研究室への要望？

給与・勤務

- ＊ 大学の給料が安い。
- ＊ 土曜日などに休日出勤をしたい。
- ＊ フルタイムではなくても、仕事内容や資格で時給格差が欲しい。
- ＊ 医局会、学会予備会が時間外に行われる。

職場環境

- ＊ 個室が欲しい。
- ＊ 医局員がもう少し増えるとよい。
- ＊ duty業務が多く、研究にあてる時間が足りない。
- ＊ 定期的な個人面談の実施。
- ＊ 評価の方法の明確化。
- ＊ 医局で行う研究や大きな仕事の時、声がかからない。
- ＊ 懇親会、忘年会等の交流の場に女性医師がほとんど参加できない。



Q3. 職場で「お互いを理解しあう」には、何が必要？

①コミュニケーション

- ＊ 勤務が困難となった時、なりそうなる時、早めに上司に相談する。一人で悩まない。
- ＊ 各人の勤務状況や負荷になっていることなどについて知ることが必要。
- ＊ 事情がある時は細かく伝え、相手の困る可能性がある事を先に予測して準備しておく事。
- ＊ 業務の話以外にも私的な会話から、お互いの理解が深まると思う。

②環境・体制作り

- ＊ 忙しくても相談、説明が可能な体制作り。
- ＊ 多様なバックグラウンドを持つ人材確保。



Q3. 職場で「お互いを理解しあう」には、何が必要？

③その他

- ＊ 他の研究室との交流する機会が増えて、新しいことを覚える機会が増えた。理解し合うというよりは自分自身がかの分野の手法を知り世界が広がると感じる。

<医局取組事例>

- ＊ 女性⇒外来担当、男性⇒入院担当。
入院チームに負担になりすぎないようアセスメント、マネジメント。
- ＊ 女性でも出来る医局仕事を受け持つ
⇒ 勉強会の開催、委員会への参加、図書の整理等々



Q4. 「裁量労働制」「変形労働時間制」について、ご意見、ご要望は？

- △ どこまでが仕事なのか線引きが難しい。
- △ 給与などのルールが周知されていない。
- △ リサーチレジデントは「裁量労働制」「変形労働時間制」の対象外？
- △ 時短の先生に正当な時間外手当が払われていない？
- △ 初期レジデントの残業時間の上限を守るため、シニアレジデントの負担が増えている。
- △ 初期レジデントの残業時間上限厳守のため、必要研修時間が不足する。

△ 「裁量労働制・変形労働時間制」についてよく知らないという方が多い・・・！

Let's Discussion

皆どうしている？

皆さんで良いアイデアを共有しましょう～☆



Let's Discussion



＊ より良い働き方のために職場に求めること

Let's Discussion



＊ 職場で「お互いを理解しあう」ために必要なこと

お互いが幸せな気持ちで前を向いて歩ければ
医師・キャリア支援センターは皆さまをサポートいたします。
お気軽に何でもご相談ください。相談から新たな一歩が始まります。



以下に、参加者の皆様からのご意見を掲載いたします。

《原文のとおり記載》



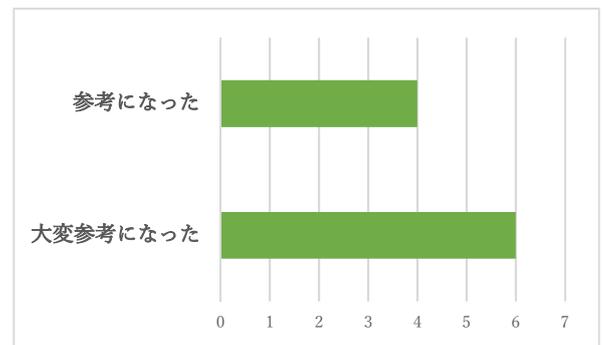
第10回 Jichi Joy Café (開催後) アンケート



アンケート回答数 10/18 (回答率 55.5%)

1. 本日の内容についてご感想をお聞かせください。

- | | |
|-----------------|----|
| (1) 大変参考になった | 6人 |
| (2) 参考になった | 4人 |
| (3) 普通 | 0人 |
| (4) 参考にならなかった | 0人 |
| (5) 全く参考にならなかった | 0人 |



2. Q1のお答えの理由をお聞かせください。

- ① 医師と研究者だと立場が違い過ぎて大変さが全く違うが、平然としている先生方も実はものすごく葛藤しながら両立している話を聞くと、自分だけがたてこまいて訳ではないのだと・・・安心できる。
- ② “現場の声”を聞く事ができ、実感が湧いた。
- ③ 参加やそれぞれの現状や意見が聞けてよかった。
- ④ 自分では記げない意見を頂けた。(例：子育てしながら、細切れで効率よく家事、研究、) 自己学習を行うなど。子供が寝たあと 30分自分のために自己学習する等)
- ⑤ さまざまな職種の方のお話を聞いて、時間の使い方や働く意識の高さを感じ、今後の仕事に対する意欲がとて上りました。
- ⑥ 気軽に色々な人の意見を伺えた。
- ⑦ いろいろな職種の方の意見を知ることが出来た。
- ⑧ 他の女医さんが時間のやりくりをどの様にされているのか話を聞けてよかった。
- ⑨ 様々な立場に、様々な悩みがあることを再確認しました。
- ⑩ ここでは悩んでいるキャリアのことなど、自由に話してもよいという雰囲気があったこと。事前アンケートのまとめ方がとても良かったです。問題の抽出にこれからも役に立つと思います。みなさんが悩んでいることを共有できて、この状況をなんとかしなければなどという共通の課題が見い出せたこと。

3. 本日のディスカッションを踏まえて、多様なキャリアを理解し合うためにはどのような改革が必要だと思いますか？

- ①本人より上司、科の雰囲気が何より重要。上司の考え方はきっと変えられないだろうから、大学として規則を変えるなど強制力を持たせないと無理だと思う。
- ②育児、家事をする人の昇進制。
- ③コミュニケーションはとても重要。自分から積極的に話しかけることも重要。
- ④年に1度か2度、医局ごとに相談できるキャンペーン期間をつくり、各人の意見を吸い上げる。
- ⑤ディスカッションで出たコミュニケーションを異職種間でとったり、個別面談などはとても必要ではないかと思いました。先生方と教授で面談がないことに驚きました。
- ⑥男性の先生のワークライフバランスも話し合えると理解が深まると思います。
- ⑦この数年で、だいぶ慣れて（マヒして）しまいましたが、医師として働いている方達も、その額じゃ不足なんだ・・・なら、私は？とモヤモヤ再燃・・・。時給が上がったことでムリに納得していましたが。多分医師の先生方はサービス残業を加味すると時給にしたらラボランチンと大した差はないのかなと思いました。
- ⑧上司や管理職に当たる方に定期的なヒアリングをして、大学の中での自分の役割を認識してすすめることが出来ると良い。また自分の家庭の状況や、健康、医師として研究者としてやりたい事も周囲や上司に理解してもらうこと。一人で悩まず、お互いを知り、多様性をみとめることができる環境を作る。医学部5年生からもらったことばもよかったです。周囲を気にせず自分がやってみたいことを伝え、行動すること。まずは会議でも出た、管理職へキャリアのヒアリングを行ってもらうのは第一歩だと思います。

4. 医師・研究者キャリア支援センターへのご意見、ご要望等ございましたらご記入ください。

- ①ディスカッションという名の雑談が何より自分のガス抜きになる。このような場を提供してくれて時間も昼にしたり夜にしたり様々なやり方で、多数の方が参加できるように考えてくれてありがたい。
- ②「キャリア支援センターからのお願い」というような働きかけで、各医局で女性（育児、介護）を抱えている状態の方々と面接する制度が出来れば良いなあと思いました。
- ③Jichi Joy caféをたくさんの方に参加していただけるよう何かもっと発信する方法はないかな・・・と思いました。
- ④頑張っている先生方が不満の出ない待遇になりますように！
- ⑤ポスターやお弁当もとてもよかったです。
今回まだ話し足りないこともあると思いますので、またシリーズで深めていくのもよいかと思いました。会議の様子を配布や掲示などで広めていけるといいと思います。参加者を広げて活きたいですね

参加者集合写真

